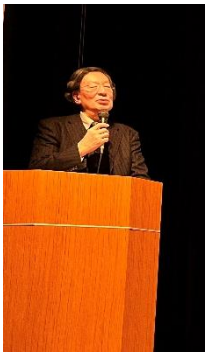
第３回生涯学習審議会
資料２

令和６年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会について

テーマ	自ら学び、あなたと考え、ともに創るわたしたちのまちと未来
趣旨	テーマは、全ての市民一人一人が、自らの学びを通して自己を成長させ、他者への理解を深め、学び合うことで生きがいを高め、ともにまちと未来を創造することを目標としたものです。 社会教育委員研修会では、今年度スタートした「町田市教育プラン 24-28」で定めた学校教育と連携した生涯学習施策の実現に向け、事例紹介を踏まえたパネルディスカッションをします。
日時	令和６年１２月１４日（土）午後１時３０分から４時０５分まで
会場	町田市民フォーラム　ホール
内容	**■第１部　式典** 開会　都市社連協副会長　笹井 宏益（小金井市） 挨拶　都市社連協会長　吉田 和夫（町田市） 祝辞　町田市教育委員会教育長　小池 愼一郎（代読　生涯学習総務課長　西久保　陽子） **■第２部　各ブロック研修会実施報告** 第１ブロック幹事 羽村市　第２ブロック幹事 国立市 第３ブロック幹事 多摩市　第４ブロック幹事 清瀬市 第５ブロック幹事 府中市 **■第３部　社会教育委員研修会** 「生涯学習と学校教育の連携について」 内容：登壇者による事例紹介及びパネルディスカッション テーマ説明：町田市生涯学習審議会会長　吉田 和夫 司会進行　：国士舘大学体育学部こどもスポーツ教育学科教授　喜名 朝博 パネリスト：玉川大学客員教授・前町田市立金井中学校長　仙北屋 正樹 町田市地域活動サポートオフィス事務局長　喜田 亮子 学校支援ボランティアコーディネーター　井上 由美 閉会行事 閉会　都市社連協副会長　生尾 光（小平市）
参加者	多摩地区社会教育委員及び関係職員等　１２３名

【社会教育委員研修会（パネルディスカッション）の様子】



テーマ説明　吉田会長

司会進行　喜名委員

パネリスト
（左から）仙北屋氏、喜田委員、井上委員

＜社会教育委員研修会　各パネリストの発言要旨について＞

○仙北屋氏

・　町田市を調べる過程で、子ども達は様々な職業に興味を持つようになり、どんな仕事をしているかを知ることで、新たな職業観が芽生え、やってみたいと感じる子どもも増えている。

・　過去の日本は終身雇用制や高度経済成長によって安定した将来を描けたが、今の子ども達は将来への夢が持ちにくいと感じている。多様な職業や趣味を紹介し、子どもたちの視野を広げることは、短絡的な選択を避ける助けとなり、大人が担うべき重要な責任と考えている。

・　子どもたちは輝いている大人を見る機会を求めているが、そうした場が少ないため、学校に様々な活動をしている大人を招くことが重要とされている。

・　スマートフォンの普及でコミュニケーションが減少し、子ども達は話す機会を失っている。教師も忙しく、家庭でも子ども達の話を聞く時間が不足しているため、彼らは話を聞いてもらう機会を欲している。大人との交流やコミュニケーションは、子ども達にとって大きな喜びとなる。

○喜田氏

・　地域と学校の間には期待や理解の差があり、誤解やトラブルの原因となることがある。そこで、特性やニーズを理解し、具体的な体験を提供するよう調整することが大切。コーディネーターがその役割を果たすことで、地域との連携がスムーズに進むと考えられる。

・　情報や知識の共有など、コーディネーターの横のつながりは非常に重要となる。

・　生涯学習や地域活動に参加している高齢者が、若い世代に話を聞いてもらうことは非常に活力を与えると感じている。説明時の子ども達の目の輝きや元気さは特別で、大人のエネルギー源となっている。また、子ども達から受け取る感想文には、大人では気づかない視点が多く含まれており、それが新しい気づきや価値の発見につながる。学校と地域活動の連携は双方にとって大きなメリットがあると考えられる。

○井上氏

・　町田市立小中学校全校に配置されているコーディネーター（VC）は、地域の人材を学校のニーズに応じてマッチングする役割を担い、学校と地域の橋渡しとして重要な役割を果たしている。

・　VC は地域の情報を集め、ネットワークを活用して学校に適した人材を見つけ出し、地域の団体との連携を強化している。この活動は、地域住民に生きがいを与え、子どもたちに新たな学びの機会を提供するが、日程調整やカリキュラムの制約などの課題も抱えている。特に、学校のニーズに応じた人材確保や、地域住民の技術や知識をどのように教育に活用するかが大きな挑戦となる。

・　VC の活動は子どもたちのコミュニケーション能力を育成し、地域とのつながりを築く重要な機会となり、子どもたちが将来を考える上で大切な関係を築く手助けとなる。

・　授業を通じて子ども達や先生、ゲストティーチャーが喜ぶ姿は、VC のやりがいとなっている。

＜アンケート結果＞

主な感想・意見
・本市でも生涯学習と学校教育との連携に取り組んでいるので、とても参考になった。 ・「子どもたちは、輝いている大人を見たい」という言葉が印象深かった。家庭でも学校でも地域でも、輝く大人のいる場所でないと子どもも輝けないのだと改めて感じた。 ・パネリストのお話が本当に参考になった。特に地域活動サポートオフィスの取組をもっと詳しく知りたかった。 ・町田市の教育委員会の組織として「学校支援ボランティアコーディネーター」がいるということが素晴らしい。コーディネーター同士の連携がとれているのは、10 地区に分けての連絡会が大切なのだろう。「誰がつなぐか」がよく見えた事例であった。 ・生涯教育が長い目で時間がかかる継続的な事業であり、種をまき続けるためのコーディネートや連携には苦労があると思う。新たなチャレンジを面白がる好奇心の気持ちを忘れず、私も当市での事業を頑張っていきたいと思った。 ・町田という大きい街のスケールメリットを生かしたお話だった。市民活動側の支援と学校の支援とそれぞれの支援活動が連携するという強力な連携はうらやましいが、小さい街なりの望ましい連携の形を探っていきたい。